

第 1 期 事 業 年 度

決 算 報 告 書

平 成 1 6 年 度

〔 自 平成16年 4月 1日 〕
〔 至 平成17年 3月31日 〕

国立大学法人東京海洋大学

平成16年度 決算報告書

国立大学法人 東京海洋大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	5,924	5,924	-	
施設整備費補助金	33	33	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	28	28	-	
自己収入	1,642	1,544	98	(注1)
授業料及び入学金検定料収入	1,544	1,421	123	
雑収入	98	123	25	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	365	495	130	(注2)
計	7,992	8,024	32	
支出				
業務費	7,566	7,085	481	(注3)
教育研究経費	5,810	5,452	358	
一般管理費	1,756	1,633	123	
施設整備費	33	33	-	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	365	426	61	(注4)
長期借入金償還金	28	28	-	
計	7,992	7,572	420	
収入 - 支出	-	452	452	

備考

予算と決算の差異について

(注1) 自己収入については、17年度新入生に係る授業料前受けの中止等、学生納付金納付者数の変動等のため見積額を下回ったことにより、予算金額に比して決算金額が98百万円少額となっています。

(注2) 予算段階では予定していなかった国の各組織、独立行政法人等及び民間からの受託研究等の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が130百万円多額となっています。

(注3) 業務費については、教育研究経費及び一般管理費において、人件費及び物件費の節減に努めたため、並びに退職一時金及び実習船修繕費等費用進行基準を採用した事項について未支出分があるため、予算金額に比して決算金額が481百万円少額となっています。

(注4) 予算段階では予定していなかった国の各組織、独立行政法人等及び民間からの受託研究等の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が61百万円多額となっています。

決算報告書の決算額と損益計算書の集計額の集計区分の相違の概要について

・収入(収益)について

- ・ 決算報告書においては、当期に受け入れた運営費交付金額全額を収入に計上していますが、損益計算書においては、当期に受け入れた運営費交付金のうち資産見返運営費交付金等に振り替えた額及び費用進行基準を採用した事項の費用未発生分を差し引いた額について期間進行基準により収益化しています。
- ・ 決算報告書においては、平成16年度以前の未収授業料及び平成16年度に納付された平成16、17年度授業料を収入に計上していますが、損益計算書においては、平成15、16年度に納付された平成16年度授業料について期末の授業料債務を収益化しています。

・支出(費用)について

- ・ 決算報告書においては、現金の支出を伴う取引を業務費等として認識していますが、損益計算書においては、減価償却費等現金の支出を伴わない取引を費用として認識しています。